

様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	福岡県	市町村名	福岡市	計画の名称	効率的かつ戦略的な維持管理により次世代に継承する道づくり			
計画期間	平成30年度～令和元年度（2年間）			全体事業費	982百万円	国費率	0.55	
交付期間	平成30年度～令和元年度（2年間）	事後評価実施時期	令和4年度	交付対象事業費	982百万円	国費率	0.55	
1)事業の実施状況	対象事業	要素事業名						
		A.地方道整備事業	(国)385号(美野島工区)、(一)板付牛頸筑紫野線ほか、(1)千代今宿線ほか、(2)横浜今出線ほか、(主)大野城二丈線ほか、(主)福岡志摩前原線ほか、(1)長谷香椎線ほか、(1)清水干隈線ほか、(主)福岡早良大野城線ほか					
		B.関連社会資本整備事業						
		C.効果促進事業						
	その他関連する事業							
	進捗状況	A.地方道整備事業	要素事業名	事業内容(延長・面積等)	事業進捗(R01年度末)			
			(国)385号(美野島工区)	橋梁修繕:1橋(L=15m以上)	完了			
			(一)板付牛頸筑紫野線ほか	橋梁修繕:23橋(L=15m未満)	整備中			
			(1)千代今宿線ほか	橋梁修繕:22橋(L=15m以上)	整備中			
			(2)横浜今出線ほか	橋梁修繕:80橋(L=15m未満)	整備中			
(主)大野城二丈線ほか			橋梁点検:203橋(L=15m以上)	整備中				
(主)福岡志摩前原線ほか			橋梁点検:82橋(L=15m未満)	整備中				
(1)長谷香椎線ほか			橋梁点検:337橋(L=15m以上)	整備中				
(1)清水干隈線ほか			橋梁点検:1,599橋(L=15m未満)	整備中				
(主)福岡早良大野城線ほか			大型施設整備計画及び点検:76施設	完了				
B.関連社会資本整備事業								
C.効果促進事業								
その他関連する事業								
2)事業の効果発現状況	指標名・算定式		当初現況値(H30年当初)	目標値(R04年末)	実績値(R01年末)	目標値と実績値に差が出た要因		
	成果目標の達成状況		長寿命化修繕計画対象橋梁の修繕率(%) = (修繕済み橋梁数) / (要素事業の修繕計画対象の総橋梁数) × 100	0%	100%	10%	当初計画は令和4年度までの5か年計画であったが、令和2年度から個別補助へ移行し、2か年の計画となったため	
			橋梁点検の実施率(%) = (点検済みの橋梁数) / (要素事業の点検予定総橋梁数) × 100	0%	100%	33%	当初計画は令和4年度までの5か年計画であったが、令和2年度から個別補助へ移行し、2か年の計画となったため	
			大型施設における点検実施率(%) = (点検済み施設数) / (要素事業の点検予定施設数) × 100	0%	100%	100%	—	
	成果目標以外の要素事業の効果発現状況(定性的な効果)		<ul style="list-style-type: none"> ・橋梁修繕により、橋梁の長寿命化が図られ、信頼性の高い道路空間を確保。 ・橋梁点検により、適切に維持修繕計画が立てられることで、安全で安心な暮らしに資する道路施設の維持。 					
関連社会資本整備事業、効果促進事業の効果発現状況(定性的な効果)		—						
3)その他	今後の事業予定等		・整備中の路線については、引き続き国の個別補助制度を活用しながら、地元関係者等との協議・調整を図り、早期完了に努める。					

※完了予定については、計画予算が確保された場合の目標であり、事業の進捗状況、財政事情等により適宜見直しを行います。

様式2-2 計画の概要

効率的かつ戦略的な維持管理により次世代に継承する道づくり

事業の目的	成果指標・算定式	当初現況値 (H30年当初)	目標値 (R04年末)	実績値 (R01年末)	目標値と実績値に差が出た要因
近年、道路事業に関連する予算が年々減少していく一方で、橋梁等の道路施設における老朽化は加速度的に増加している。そのため、将来のメンテナンス費用を予測し、予防保全型の管理や新技術の導入等により、今後増大が予想される維持修繕費用を低減させるとともに、安定的な予算の確保が求められている。 定期的な調査を行い損傷が深刻化してから大規模な修繕を行う「事後保全型」から、損傷が軽微なうちに補修を行う「予防保全型」へ転換し、新技術の導入を図りながら安全で安心な暮らしに資する道路施設を次世代に継承していく。	長寿命化修繕計画対象橋梁の修繕率(%) =(修繕済み橋梁数)÷(要素事業の修繕計画対象の総橋梁数)×100	0%	100%	10%	当初計画は令和4年度までの5か年計画であったが、令和2年度から個別補助へ移行し、2か年の計画となったため
	橋梁点検の実施率(%)=(点検済みの橋梁数)÷(要素事業の点検予定総橋梁数)×100	0%	100%	33%	当初計画は令和4年度までの5か年計画であったが、令和2年度から個別補助へ移行し、2か年の計画となったため
	大型施設における点検実施率(%)=(点検済み施設数)÷(要素事業の点検予定施設数)×100	0%	100%	100%	—



(国)385号(美野島工区)



点検状況



点検状況

(主)大野城二丈線ほか(写真:(主)大野城二丈線(主)福岡早良大野城線ほか(写真:(主)福岡早良大野城線

区分	番号	事業種別	要素事業名	事業内容 (延長・面積等)	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	R01年度末での 供用状況
					H30	R01	R02	R03	R04		
A. 地方道路整備事業	6-A1	道路	(国)385号(美野島工区)	橋梁修繕:1橋(L=15m以上)						127	完了
	6-A2	道路	(一)板付牛頸筑紫野線ほか	橋梁修繕:23橋(L=15m未満)						14	整備中
	6-A3	道路	(1)千代今宿線ほか	橋梁修繕:22橋(L=15m以上)						383	整備中
	6-A4	道路	(2)横浜今出線ほか	橋梁修繕:80橋(L=15m未満)						92	整備中
	6-A5	道路	(主)大野城二丈線ほか	橋梁点検:203橋(L=15m以上)						36	整備中
	6-A6	道路	(主)福岡志摩前原線ほか	橋梁点検:82橋(L=15m未満)						11	整備中
	6-A7	道路	(1)長谷香椎線ほか	橋梁点検:337橋(L=15m以上)						73	整備中
	6-A8	道路	(1)清水干隈線ほか	橋梁点検:1,599橋(L=15m未満)						238	整備中
	6-A9	道路	(主)福岡早良大野城線ほか	大型施設整備計画及び点検:76施設						8	完了
B. 関連社会資本整備事業				なし							
C. 効果促進事業				なし							
その他関連する事業				なし							

主な事業効果

- ・(国)385号(美野島工区)等の橋梁修繕により、橋梁の長寿命化が図られ、信頼性の高い道路空間が確保された。
- ・橋梁や大型施設の点検により、対象施設の損傷状況を把握し、適切に維持修繕計画が立てられることで、安全で安心な暮らしに資する道路施設の維持が図られる。

※完了予定については、計画予算が確保された場合の目標であり、事業の進捗状況、財政事情等により適宜見直しを行います。